

「小さな学校で大きな感動」の柱となる「ふるさとなみえ科」の実践は、避難先の学校でも、地域とのつながりを意識し、地域のひと・もの・ことからの学びを大切にしています。子どもたちは、ふるさとに誇りを感じ、自分ができることは何かを考えるようになってきました。また、ふるさとを離れた浪江町の人々に、子どもたちの学習が大きな感動を与えました。

29年度「ふるさとなみえ科」の実践

- ◎ 「ふるさとなみえ科」公開授業や「ふるさと創造学サミット」など、自分の考えを伝える場が設定されています。その場で自信を持って発表することができる力を身に付けさせたいと考えています。
- ◎ 児童に身に付けたい資質・能力として、「人とのつながりを持てる力」や「自分の思いや考えを表現し、伝える力」を大切に実践しています。

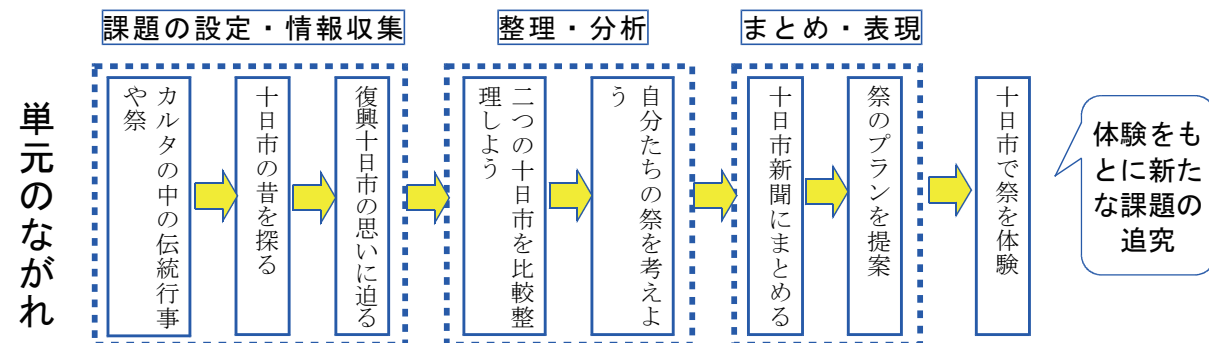
【指導の重点】

- 課題設定、情報収集、整理・分析をとおして考え、言葉や図表で表現する探究的な学習を充実させる。
- 新聞作りをとおして気付きや発見、自分の考えをまとめ伝える力を身に付けさせる。
- 各教科における言語活動や読書、ICT教育と結びつけ充実させる。

【指導計画】

地域のひと・もの・こととつなぎ、年間をとおして全学年で同一単元を設けて実践している。

【単元 盛り上げよう ふるさとの祭】探究のプロセス



「ふるさとなみえ科」実践から

- (1) ふるさとと学校をつなぎ、本物との出会いを大切にしながら豊かな体験や地域の人々との交流をとおして、「なぜ」という疑問や「こうしたい」「もっとこうなりたい」という願いが高まり、主体的に課題解決に取り組むことができた。
- (2) 学年を超えた学びの中で、助け合い、互いのよさを生かして課題解決に迫り、達成感を味わうことができた。
- (3) 課題設定や整理・分析の場面では、思考ツールを活用することによって、比べる視点を明確にして必要な事柄を比較できるようになり、探究的な学習を充実させることができた。
- (4) 学習の成果を展示する「まるごとふるさとなみえ博物館」の子ども学芸員として、手作りのお神輿や新聞などを展示する際、見る側の立場に立った作品の紹介や展示を工夫することができた。
- (5) ふるさとを誇りに思う心、地域の方々に対する思いやりの心が育っている。また、自分には何かについて考え、未来を見つめ、将来への夢を抱きはじめた。
- (6) 自分達の学習が、家族や地域の人々に認められ、喜んでもらえる経験をとおして、「やればできる」という自己肯定感が生まれ、前向きな姿勢が生まれてきた。



「ふるさとなみえ科」の実践～5年間の歩み～

◎ 詳しくは、WEBをご覧ください。(2017.2作成)
http://www.namie-es.jp/furusato_namie/



双葉郡教育復興ビジョン「ふるさと創造学」

ふるさとなみえ科 plus

◇ ふるさとなみえ科の目標

浪江町の子どもたちの
 浪江の未来を拓く
 浪江の子どもたちの
 浪江の未来を拓く

～ 学校が人をつなぎ、地域をつなぎ、笑顔をつなぎ、そして地域の未来につながっていく ～



浪江町立浪江小学校・津島小学校



探究の学習過程

地域に触れて、感じて、考える

地域を学び、発信する

地域の夢・地域の未来をつなぐ

盛り上げよう ふるさとの祭 ～わくわく伝え隊「なみえっ子5」～

浪江町 ～十日市～

くらべよう つながりを考えて

二本松市 ～提灯祭～

【課題をつかむ】

- 身近にある学習教材等をきっかけにふるさとの伝統行事や祭があることを知り、興味関心・疑問を持つとともに、学習テーマを考える。

【情報を集める】

- 学習テーマに関する団体や施設を訪問し、インタビューをする。
- 地域の専門家の話を聞く。

【整理・分析する】

- 体験活動を通してわかったことや集めた情報を振り分けたり、序列を付けたりする。
- 集めた情報をマップや図等で分類・整理・分析する。

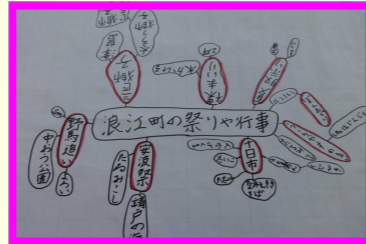
【まとめ・表現】

- 作文や新聞等にまとめ表現する。
- まとめた内容を地域の人々に報告・発信する。

単元の導入～課題作り～ ふるさとはどんな祭や伝統行事があるのか さがしてみよう

十日市に参加した子どもたちは、浪江町と二本松市の行事や祭に関心を示し、調べたいと意欲をもった。

「なみえっ子カルタ」から→関係する名称を見つける。



← ウェビングに書き出す。十日市の書き込みが多いが、詳しいことまでは知らない。

浪江町の紙芝居を調べる↓

分かったことを付箋に書き、分類しながら課題を考えていく。→



学習課題 「十日市と提灯祭について調べよう」

資料を活用して調べる→

講師の方のお話を聴く↓



↑映像資料 NHK1973年制作「新日本紀行～サーカスの来るところ」



↓意見交換



↑講師の方からお話を聴く

←提灯祭を見学する

分類・整理・比較→



↑思考ツールの活用



分類・比較→



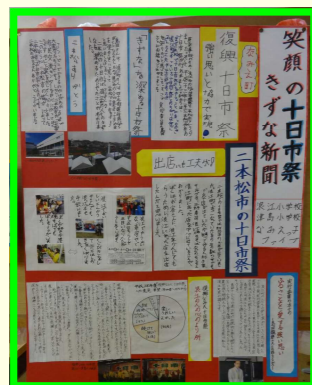
↓完成したおみこし



←おみこしのイメージ

↓プレ十日市で新聞を配付

壁新聞によるまとめ



まるごとふるさとなみえ博物館



子どもたちの思いや願い 二つの祭には歴史があり、地域の人々の思いが一つになる自分たちが計画した祭で多くの人に元気と感謝を届けたい



交流・体験活動 学習成果の発信 地域の人から学ぶ・人を学ぶ・人と共に学ぶ

交流・体験

「介護福祉施設訪問」



十日市についてインタビュー



「なみえっ子カルタ」で交流

「大堀相馬焼工房での体験」



親子で陶芸を体験



十日市で配る箸置き作りに挑戦

成果発信

「プレ十日市&感謝祭 in 二本松」

H29.11.12 於 二本松市市民交流センター



おみこしの登場で盛り上がる会場



会場に展示した親子の陶芸作品

「ふるさと創造学サミット」

H29.12.12 於 ビッグパレットふくしま

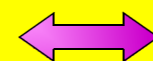


「ふるさとなみえ科」の取り組みについて発表



【学習を支える柱】

協同的な学び 豊かな体験活動 多様な言語活動



教科横断的な学習 まるごとふるさとなみえ博物館